

6月20日に試験放流しました、1200匹のヒナモロコは橋本先生が大切に育てられていた子どもたちです。

その後、里親会では外敵(サギの食害等)や、定着状態等を見守り続けました。

サギの食害については、まだたんぼに食べ物があるせいか、ヒナモロコは無事の様です。でも、この先、水が少なくなる時期が来ると心配です。

あとは、この水路をヒナモロコ達が気に入ってくれるかどうかです。

1日も早く、ヒナモロコにとって、心地いい場所になってくれるよう、みんなで応援していきたいと思います。

みんなで見守っていきましょうね。

6月20日試験放流 1200匹 (上・中・下流それぞれ400匹ずつ)

その後のモニタリング

6月29日調査結果は以下のとおりです。

下流	7匹 草等も成長が遅れていたせいか、少ししか見られませんでした。 なまず1匹、ドンコ4匹、フナ仔3匹、カワムツ1匹、ヤゴ1匹、タカハヤの稚魚多数
中流(道路交差)	44匹 深み部分や土橋の下付近、植物もかなり成長し隠れ場所があるためたくさんいました。 どじょう4匹、なまず1匹、ドンコ1匹、ヤゴ1匹 (いずれも仔魚)
上流	19匹 フナ稚魚多数、どじょう1匹、ドンコ1匹、タカハヤ11匹(いずれも仔魚)

2008.7.11 ヒナモロコ里親会